

長岡市・和島村 長岡市・寺泊町 長岡市・栃尾市 長岡市・与板町

合 併 協 定 調 印 式

会 議 録

長岡市・和島村 長岡市・寺泊町 長岡市・栃尾市 長岡市・与板町

合併協定調印式

日時：平成17年3月18日（金）午前10時

場所：長岡市役所 大会議室

合併協定調印式次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ 長岡市・和島村合併協議会 長岡市・寺泊町合併協議会
長岡市・栃尾市合併協議会 長岡市・与板町合併協議会 会長
- 3 立会人紹介 新潟県知事、5市町村議会議長
- 4 合併協定書調印
- 5 あいさつ 長岡市長
- 6 立会人祝辞 新潟県知事
- 7 閉会

事務局（北谷）

本日は、お忙しい中多数の皆様方のご臨席をいただきまして、まことにありがとうございます。

ただいまから長岡市・和島村、長岡市・寺泊町、長岡市・栃尾市及び長岡市・与板町の合併協定調印式を行います。

私、本日の司会を務めます合併協議会事務局長の北谷でございます。

それでは、開会に当たりまして、市町村長のご紹介を申し上げます。

森長岡市長でございます。

笠原和島村長でございます。

高橋寺泊町長でございます。

馬場栃尾市長でございます。

山崎与板町長でございます。

それでは、合併協定調印式の主催者を代表いたしまして、合併協議会会長でございます森長岡市長がごあいさつ申し上げます。

会長（森 民夫）

本日は大変お忙しいところ多数の議会議員の皆様、また合併協議会の委員の皆様お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、泉田県知事には本当に公務ご多忙のところご臨席賜りまして、心から御礼を申し上げます。

ご承知のようにまず長岡市と和島村の合併協議会、続きまして長岡市・寺泊町との合併協議会、さらに長岡市・栃尾市合併協議会、長岡市・与板町合併協議会ということで、順次四つの合併協議会におきまして協議を進めてまいりました。先日この四つの合併協議会が合同で3回目の協議会を開催いたしまして、無事全日程を終了させていただきました。同時に建設計画につきましては、新潟県ご当局に提出をいたしまして、正式にご協議を進めさせていただきましたけれども、大変迅速に処理をしていただきまして、つい先日新潟県の方からも建設計画につきまして正式にご了解をいただいたところでございます。そうした経緯の中で、本日合併調印式を迎えることができまして、私としても大変うれしく思っているところでございます。

合併にはさまざまなご意見もあるわけでございますが、何と申しましても、この長岡地域の合併は、まずこの4月1日に長岡市を含め六つの市町村で合併をいたします。その基本理念が共存共栄ということでございます。それぞれの地域の個性、伝統あるいは文化を最大限に生かして、それを総合化することによって、新しい活力を生み出そうと、そうした共存共栄の精神のもとで、まず4月1日に合併いたします。その後来年の1月1日にその同じ理念のもとに新たに4市町村が加わっていただけることになるわけでございます。その結果、この長岡地域一つの生活圏に見合った長岡市ができます。人口も30万人近い非常に存在感のある中越地域の都市となるわけでございます。合併に伴いまして、これからその解決していくべき課題というのは、一つ一つこれからも多々あるかと思えますけれども、常に共存共栄という理念を大切に、未来に向かって、未来の発展に向かって進んでまいりたいと、このように考えている次第でございます。本日ご列席の皆様につきましては、そのようなこの中越地域、長岡地域の発展の歴史的な1ページをごらんいただくわけでございますけれども、ぜひともその共存共栄ということを胸におさめていただきまして、今後ともご指導、ご鞭撻賜りながら、この新長岡市の発展にご協力いただきますことを心からお願いを申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。本日はまことにありがとうございます。

事務局（北谷）

ありがとうございました。

それでは、ここで立会人の皆様をご紹介します。

まず初めに、新潟県知事の泉田裕彦様でございます。

続きまして、長岡市議会議長、小熊正志様でございます。

和島村議会議長、倉部昭一様でございます。

寺泊町議会議長、石井俊雄様でございます。

栃尾市議会議長、平林豊作様でございます。

与板町議会議長、佐藤誠一様でございます。

それでは、合併協定の調印へと進めてまいりたいと存じます。

合併協定書は四つの協議会ごとに長岡市長と4市町村長が署名押印をいたします。また、立会人の皆

様からは署名のみを行っていただきます。

それでは、調印をお願いいたします。

< 調印 >

事務局（北谷）

本日ここに長岡市と和島村、長岡市と寺泊町、長岡市と栃尾市、そして長岡市と与板町で合併協定が結ばれました。

それでは、ただいま調印を行った協定書のご披露をお願いいたします。市町村長さんは、その場で立ちいただいて協定書を持って皆様にご披露をお願いいたします。

< 協定書披露 >

< 拍手 >

事務局（北谷）

ありがとうございました。ご着席ください。

それでは、続きまして主催者であります5市町村を代表いたしまして、森長岡市長より御礼のごあいさつを申し上げます。

会長（森 民夫）

今ごらんいただきましたように、無事長岡市・和島村、長岡市・寺泊町、長岡市・栃尾市、長岡市・与板町との合併協定書にサインが終了いたしました。これからまた各市町村におきまして、議会にお諮りをした上で正式に決定となるわけでございます。本日のこの気持ちを大切にして、今後5年、10年、20年、新しい長岡市をつくることに邁進するということをお約束を申し上げまして、一言御礼の言葉とさせていただきます。本日はまことにありがとうございました。

事務局（北谷）

続きまして、本日お忙しい中調印式に立会人としてご臨席いただきました新潟県知事、泉田裕彦様よりご祝辞をちょうだいしたいと存じます。よろしくをお願いいたします。

知事（泉田）

本日、ここに長岡市、和島村、寺泊町、栃尾市、与板町合併調印、無事調いましたこと、まず心からお喜びを申し上げます。

まず初めに、ごあいさつの前に一言昨年7.13水害、そして10.23中越大震災と、この長岡エリアは大変大きな被害を受けました。改めて被災された方々にお見舞いを申し上げたいと思います。また、亡くなられた方々のご冥福もお祈りをいたしたいと思います。今回この合併無事成立いたしますと、長岡市は海を持ち、そして日本の原風景ともいう山古志村まで抱えるという大変大きな都市になっていくということでございます。そして、このエリア内、良寛の里、そして打ち刃物、いろんな産業、それから観光資源を抱えるという都市になるわけでございます。また、森市長も常々おっしゃられているとおり、長岡エリアというのは新潟市に比べて首都圏に近いという地理的特性も持っているわけでございます。こ

ういう大変多くの資源を持ち、そして大学も抱え、首都圏も近いというエリアの特性を生かして、ぜひ中越エリアの核となって発展をされていくということを心から祈念を申し上げたいというふうに考えております。

数的なことを若干申し上げますと、この合併によって面積はほぼ佐渡一島と同じ面積になるということでございます。人口は28万ということで、佐渡の4倍という、そういう集積力を持つこととなります。したがって、このエリアをいかに発展させていくか。合併により、これは合併特例債がよく議論をされますけれども、それ以上に行政の機能の強化ということが図られるわけでございます。今まで同じような業務をしていた人が集約化をすることによって、政策の企画立案ということに携わっていく余力を持つということが出来るわけでございます。ぜひ皆様力を合わせてこの長岡市を将来に向かって誇れる都市に、一体感のある都市に成長させていっていただければということをお願い申し上げたいと思います。

佐渡のお話をしたんで、若干余談を一つさせていただきたいんですけども、先日佐渡に行ってまいりました。トキは58羽にふえております。そして、58羽にふえたトキをどうするのか。一昨年鳥インフルエンザということで、大変鳥の病気が懸念されたところでございます。環境省はできればこれを分散をしたいという意向を持っています。他府県で既にトキを誘致をしたいといって手を挙げているところもあるわけでございますが、日本の原風景、この長岡市にトキが飛んでいてもいいんじゃないかという気持ちを持っているところでございます。あらゆる機会をとらえてこの長岡市が発展をされていくということを祈念を申し上げたいと思います。

本日ここにご参列の皆様のみまますのご発展、そして新長岡市民のさらなるご発展とご健勝をご祈念をいたしまして、本日のお祝いの言葉とさせていただきます。本日はまことにおめでとうございました。

事務局（北谷）

ありがとうございました。それでは、報道関係の方もいらっしゃると思いますので、お手数ですが、市町村長と泉田知事からはステージの中央へご移動をお願いいたします。

<首長 知事 移動>

事務局（北谷）

それでは、知事を囲んでいただきまして、固めの握手をお願いいたします。

<握手>

事務局（北谷）

それでは、ありがとうございました。

本日は、お忙しい中県知事を初め多くの皆様方からご臨席いただきまして、ありがとうございます。

以上をもちまして、長岡市・和島村、長岡市・寺泊町、長岡市・栃尾市及び長岡市・与板町の合併協定調印式を終了いたします。

なお、この後この会場におきまして市町村長と議長の記者会見を行います。準備でき次第開始いたし

ますので、よろしくお願ひします。

本日はまことにありがとうございました。

(散会 午前10時40分)